

Oak Village. 通信

月刊オークヴィレッジ通信 No.398 2012.2.1 <http://www.oakv.co.jp>

霞始靄——かすみはじめてたなびく

これは、季節を表す「七十二候」のひとつで、「二十四節気」の雨水の次項にあたります。時期は、2月23～27日頃。文字通り、霞がたなびき始めるという意味です。

いにしえ人は、季節に名称をつけ、その移ろいに、日々の暮らしを合わせていました。

「七十二候」や「二十四節気」に思いを馳せるとき、人々の自然に対するまなざし、畏怖に近い念にハッとさせられることがあります。

確かに昔に比べると、豊かな自然は減っているかもしれません。

しかし、春夏秋冬は、変わらず私たちに訪れます。

人は自然と共に生きている、むしろ自然の中で生かされていることを実感した昨年。

ここに余裕を持ち、折節の自然の移ろいに目を向け、耳を澄ませながら日々を送りたいと思っています。

二十四節気…太陽のめぐる一年(一太陽年・一回帰年)を二十四に分けたもの。

七十二候…二十四節気をそれぞれ約五日ずつ三つに分けたもの。